

平成17年度 事業評価書

地 域 名	島根県出雲市	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	出雲市環境と経済の好循環のまちづくり協議会				
モデル事業名	森林環境再生起源事業～地球環境の再生を出雲から～				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	普及啓発事業として、地球温暖化防止のための研修会等を実施した。
	H17年度	普及啓発事業として、新エネルギーの啓発イベント、自然体験教室等を開催。また、木質バイオマスガス化発電設備に関連し、バイオマス利用・啓発キャンペーン事業を実施した。
交付金事業	H16年度	木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第1期工事を実施。
	H17年度	木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第2期工事を実施。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>木質バイオマスガス化発電設備を整備し、その原料となる木質バイオマスは市民による持ち込み計画するなど、地域ぐるみの取組を目指しており、今後の事業の進展に期待したい。</p> <p>新エネルギー導入をめざす21世紀の地域戦略の中で、木質バイオマスガス化発電の施設設置と市民啓発を明確に位置づけており、継続的発展を期待する。</p> <p>ソフト事業については、イベントに偏りすぎているため、普及啓発の方法を工夫されたい。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考	
	目標値	128	
	実績値	—	3期工事終了後に稼働
(目標値・実績値単位:t-CO ₂ /年)			
	3か年で、木質バイオマスガス化発電設備を設置し、平成19年度以降検証する予定。効果を高めるための資材の投入方法など、今後の試行過程を後々情報公開することを期待する。		
③経済活性化効果	3か年で、木質バイオマスガス化発電設備を設置し、平成19年度以降検証する予定。木質バイオマスのみで考えると、バイオマス資源調達のコストがかかりすぎるが、地域全体のエネルギー自給率100%を超える戦略づくりを通した相乗効果は高いと考えられる。		
④その他	新エネルギーの里という新たな観光資源を生かして、視察・見学者を積極的に受け入れる体制をつくり、活力あるまちづくりにつなげることを期待する。 発電設備整備に至る過程において、住民に対する理解を得ることに難航したようだが、市民の協力を得るのに一層の努力が必要。今後は、一企業に頼るだけでなく、企業と連携して組織的に普及啓発を進めてほしい。		